

森のなるほど情報発信事業

目的

県土の7割を占める森林は、水源の涵養^{かん}や県土の保全など、人々の安全で快適な生活環境を維持するために重要な役割を果たしており、全ての県民が一体となって守り育てる意識を高める必要があります。

このため、学校・社会教育等で活用できる教材の作成や「おかやま森づくり県民税」を活用して実施した施策の展示、県ホームページの充実等により、広く親しみやすい周知活動を展開します。

また、都市と山村との交流活動を支援することにより、県民のみなさんが森林・林業や木材の良さについて理解を深める機会を創出します。

令和6年度事業概要

1 事業内容

(1) 森を知る情報発信事業 [事業主体：県]

岡山の森林を県民全体で守り育てるという機運の醸成を図るため、次により森林・林業に関する情報発信を行います。

ア 森林・林業に関する普及啓発イベントの実施

イ 学校、社会教育等で活用する教材の作成

ウ 県ホームページの充実、県民税事業実施者等を通じた情報発信の促進 等

エ 情報発信の取組支援

森林・林業団体が行う、県内全域に対しての一定期間かつ効果的な森林・林業に関する情報発信の取組を支援します。

○補助率 1/2 (上限 500 千円)



小学校5年生社会科副読本



森林・林業の情報発信



普及啓発イベント

(2) 森を見つめる交流促進事業 [事業主体：市町村、森林・林業関係団体、NPO 法人]

県民のみなさんが森林・林業及び木材の良さについて理解を深める機会を創出するため、市町村や森林・林業関係団体、NPO 法人が企画・実施する都市と山村との交流活動等の取組に係る経費を支援します。

○補助率 ・事業実施主体が「単独」で実施する場合

1/2 以内 (上限 200 千円) × 3 市町村・団体

・事業実施主体の対象が「連携」して組織する団体で実施する場合

1/2 以内 (上限 1,200 千円) × 1 団体

おokayama森づくり県民税を活用した事業

使途の方向性：森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進

- 対象例
 - ・森林・林業体験型イベント、木材市場等の見学ツアー等の開催
 - ・森林・林業の現状や魅力等を山村から都市住民等に向けた発信 等



2 令和6年度 おokayama森づくり県民税充当額
4,967千円